

令和6年度の教育活動に対する学校評価

令和7年3月21日

学校法人光耀学園 裾野ひかり幼稚園 園長 上藤法光
学校法人光耀学園 学校関係者評価委員会 会長 渡辺雄二

1 幼稚園の教育目標

からだの丈夫な元気なこども・美しいもの、美しい心を感じるこども
仏さまを拝み、生き物を慈しむこども・感謝の気持ちを持てるこども

2 本年度の重点目標

- ・こども同士のともだち関係を上手に創る
- ・グループ集団の中でいきいきと活動する
- ・自然や生命をより身近に感じ取る保育

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価対象	評価項目	自 己 評 価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評 価・意 見
保育	保育の計画性	A	園児ひとりひとりの成長速度を考慮しバランスのとれた計画を構築したい。	A	近代の子どもの成長過程を考察し柔軟な計画と指導に期待。
保育	保育のあり方	A	園児の家庭環境の変化を常にとらえ、個々の成長に合わせた指導を行いたい。	A	子どもからの発信に気を配り、子どもファーストな指導に期待。
保育者	教師としての資質・能力・適正等	A	教諭の在り方も年々変化し資質、技能などこれに応じた研鑽に努めたい。	A	教育者としての模範的立場を十分理解し今後も保育に努めてほしい。
保育者との関わり	保護者への対応	A	保護者の立場に歩み寄り園児の保育環境充実のために関係構築に努めたい。	A	保護者のニーズに耳を傾けより良い関係性を築いていく事に期待。
地域	地域の自然や地域との関わり	B	地域交流の場などに積極的に参加し、充実を図っていききたい。	B	地域と関わる重要性を理解し園児と地域の架け橋になる機能に期待。
研修	研修と研究	B	保育者に求められるものを理解し、そこへ向かう研鑽に努めたい。	B	目の前の事だけでなく自己発展のため幅広い様々な研鑽に期待。

※評価結果の表示方法

A	十分に成果があった
B	成果があった
C	少し成果があった
D	成果がなかった

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
地域との関り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域交流の積極的な参加を模索 ・ 子ども達が地域の人たちと交流しやすい環境づくり
研修と研鑽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模範的立場を理解し仕事の枠にとらわれない人間力の向上 ・ 時代のニーズや今後の展望にそくした研修と研鑽への取組